

項目番号	項目名	項目内容等
1	Faculty, Etc.	General Education
2	Department, Course, Etc.	General Education
3	Class Number	
4	Type of Class	
5	Student Affiliation, Year	
6	Semester	前学期
7	Number of Credits	
8	Name of Subject	英語FA
9	Name of Class	
10	Name of Instructor	
11	Key Words	コミュニケーション(communication)、文法(grammar)、語彙(vocabulary)
12	Class Aims and Goals	<p>英語を使って情報を入手し、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と能力を身につける。特に、英語によるコミュニケーションに必須となる基礎的な文法事項を理解し、特定の目的に応じて習得した文法事項を用いて英語で表現できるようになることを目的とする。したがって、英文法能力の育成および定着に焦点を当て、さまざまな練習問題及び課題を通してさらに4技能を有機的に結びつけ、それらを総合的に向上させる授業を行う。</p> <p>受講者は授業を通じて、以下の事柄ができるようになることが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英文法の基礎的事項を理解することができる。 2. 英語のコミュニケーションの中で用いられる文法事項を体系的に習得することができる。 3. 学習した各文法事項を用いて、英語で表現することができる。 4. 多様な練習問題を通してコミュニケーションに役立つ文法能力を伸ばすことができる。
13	Class Content and Schedule	<p>Unit 1 英語表現の基礎:主部と述部、節と句、目的語と補語</p> <p>Unit 2 時間の表現Ⅰ:時間と時制</p> <p>Unit 3 時間の表現Ⅱ:進行形</p> <p>Unit 4 時間の表現Ⅲ:完了形</p> <p>Unit 5 話し手の視点:能動と受動</p> <p>Unit 6 つなぐ表現:接続詞</p> <p>Unit 7 動詞のさまざまな形Ⅰ:不定詞</p> <p>Unit 8 動詞のさまざまな形Ⅱ:分詞</p> <p>Unit 9 動詞のさまざまな形Ⅲ:動詞名</p> <p>Unit 10 修飾の表現Ⅰ:形容詞と副詞</p> <p>Unit 11 修飾の表現Ⅱ:関係詞</p> <p>Unit 12 程度の表現:比較</p> <p>Unit 13 空間と時間の表現:前置詞</p> <p>Unit 14 主観を反映する表現Ⅰ:法助動詞</p> <p>Unit 15 主観を反映する表現Ⅱ:仮定法</p>
14	Information for Students	平成13年度～平成18年度入学生対象
15	Class Rules	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の参加姿勢も、評価の対象になります。授業活動に積極的に参加することで、授業外での学習成果を実感できます。予習と復習は授業の内容を理解し、学習効果を上げるために必要です。授業中の指示に従い、しっかり予習・復習をして、積極的に授業に参加するようにしてください。 2. 授業を休んだ場合は、次の授業までに、休んだ回の授業内容をクラスメートに確認し、予習復習、課題など必要な情報を自分で入手してください。 3. 4回以上欠席した場合は、成績の評価は行いません。単位を取得できなくなりますので十分注意してください。 4. 遅刻をすると、授業活動への参加が遅れます。授業が始まる前に入室してください。3回遅刻すると、欠席1回分と見なされますから注意してください。30分以上遅れた場合は、欠席と同じ扱いになります。 5. 授業活動は原則として、英語で行われます。積極的に英語を使うようにしてください。 6. 授業中は、携帯電話を切り、私語を慎むようにしてください。
16	Textbook Information	藤岡克則・大岩秀紀著『Learn More Grammar [NEW]』(三修社)
17	Assessment	毎回提出する課題40%、授業の参加活動30%、学期末試験30%により総合評価する。
18	Office Hours, Etc.	